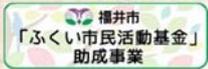


戦国越前若狭の魅力を考えるシンポジウム



朝倉義景と明智光秀と織田信長



朝倉義景

明智光秀

織田信長

令和2年

8月8日(土)

PM 1:30~PM 4:30

受付開始 PM 12:30~

【会場】福井県県民ホール(アオッサ 8F) 申込要先着順(250名定員)
福井県福井市手寄1丁目4-1 TEL 0776-87-0003 入場料1,000円 高校生以下無料

◆第一部 基調講演

①「戦国越前～朝倉義景と明智光秀と織田信長～」

福井あすわ歴史道場 会長 松下 敬一

②「明智光秀と西教寺」

天台真盛宗総本山・西教寺(明智光秀公菩提寺)

明智光秀公顕彰会 会長 前阪 良憲氏



福井あすわ歴史道場
会長 松下敬一

天台真盛宗総本山西教寺 執事長
前阪良憲氏

◆第二部 パネルディスカッション

テーマ ～戦国越前若狭と近江 歴史の魅力を考える～

前阪 良樹 氏 西教寺 明智光秀公顕彰会 事務局長(大津市)

上坂 省一 氏 劔神社 宮司 (越前町・織田)

高尾 察誠 氏 称念寺 住職 (坂井市・丸岡)

田村 典男 氏 金崎宮 宮司 (敦賀市)

コーディネーター 松下 敬一 福井あすわ歴史道場 会長

司会 進行 堀内 くみ子 フリーアナウンサー



西教寺 前阪良樹氏

劔神社 上坂省一氏

主催 福井あすわ歴史道場 協力 福井市



お問い合わせ 福井市役所 文化振興課 TEL 0776-20-5367

申込先 福井あすわ歴史道場 TEL 080-3037-1835



称念寺 高尾察誠氏 金崎宮 田村典男氏

後援 福井県・敦賀市・坂井市教育委員会・大津市・福井新聞社・NHK 福井放送局・FBC 福井放送・福井テレビ・FM 福井
福井ケーブルテレビ/さかいケーブルテレビ・(株)福井銀行・天台真盛宗総本山 西教寺・(一社)明智継承会

◆参加申込方法 往復はがき に申込者の住所・氏名・電話番号(1名迄)を記入のうえ下記までお申込下さい。

〒918-8003 福井市毛矢2丁目1-23 松下方

福井あすわ歴史道場 戦国越前若狭の魅力を考えるシンポジウム 事務局宛

はがき到着後に先着順で入場整理券を御返信します。入場整理券は7月下旬～8月初旬頃迄にご返信発送します。

入場料1,000円は当日会場でのお支払となります。参加申込受付締め切り 令和2年8月3日(金)迄に必着

※新型コロナ感染予防対策により今回のシンポジウム入場者は会場収容可能人数500名の半数250名とさせていただきます。

～明智光秀公の菩提寺 天台真盛宗総本山 西教寺（滋賀県 大津市）～

聖徳大使が創建に関わり、室町時代には真盛上人により不断念仏の道場とされ、現在は全国に四百を超える末寺を持つ天台真盛宗の総本山。戦国時代には織田信長の比叡山焼き討ちの後、明智光秀が復興に尽力し再建された。明智光秀が戦死した部下の供養の為に西教寺に供養米を寄進した際の寄進状が寺に現存している。境内には明智光秀の供養塔や明智一族の墓が立っている。真盛上人は戦国時代に越前に赴き一乗谷朝倉氏の保護を受けながら越前で広く布教をしたことから現在も福井県に西教寺の末寺や檀家が多く存在しています。



～西教寺 前阪良憲氏 プロフィール～

昭和15年12月 福井県生まれ
関西大学卒業
天台真盛宗 宗務総長、総本山西教寺 執事長
明智光秀公顕彰会会長、大津市仏教会会長
大津市深光寺住職
平成25年4月 旭日双光章叙勲受章

～西教寺 前阪良樹氏 プロフィール～

昭和43年11月生まれ
駒澤大学卒業
天台真盛宗 庶務部主事補、明智光秀公顕彰会事務局長
総本山西教寺塔頭聞證坊住職

～織田信長公ゆかりの社 劔神社（越前町 織田）～

奈良時代より祈願の霊場として朝廷をはじめ多くの人々から厚い信仰を受け、現在所蔵する国宝の梵鐘は第四十九代光仁天皇の御奉納といわれています。劔神社の鎮座地である越前町織田は、織田信長公の祖先の地です。織田氏は織田荘の荘官としてまた越前国二の宮劔神社の神官として代々劔大神に仕えてきた由緒ある家柄でした。織田信長公は氏神と崇めて格別の信仰をもって神領を寄進し劔神社を保護しました。



～劔神社 宮司 上坂 省一氏 プロフィール～

昭和37年生まれ
福井県立武生高校卒業、筑波大学第二学群農林学類卒業
民間農業土木コンサルタント会社に勤務後、國學院大學
神道学専攻科終了し、昭和63年より平成26年まで伊勢
神宮に奉職、平成26年劔神社宮司拝命。

～明智光秀公が十年間門前にて雌伏の時を過ごした 称念寺（坂井市 丸岡）～

称念寺は養老五年(721年)に元正天皇の勅を受け泰澄大師により創建され、正応三年(1290)越前地方を遊行した時宗の他阿上人が同寺を長崎道場として念仏の拠点道場としました。同寺は南北朝の戦乱期の延元3年(1338)に藤島庄灯明寺吸で戦死した新田義貞公の菩提所としても知られ、明智光秀はこの門前に寺子屋を建て家族で十年間住んだと伝わっています。境内には光秀の妻・照子の黒髪伝説を詠んだ芭蕉の句碑もあります。



～称念寺 住職 高尾 察誠氏 プロフィール～

明治の版籍奉還により無檀家無俸禄になり荒れ果てた
称念寺でしたが大正十三年に広島県の高尾察玄氏が本
山特命住職として入寺し再建。高尾察良氏を経て平成
十九年に「高尾察誠氏」が第41代住職として就任し現
在に至る。

～金ヶ崎城は天下取りへのターニングポイント 金崎宮（敦賀市）～

金ヶ崎城跡は延元元年(1336)に尊良親王・恒良親王を奉じて下向した新田義貞が足利軍と戦った古戦場で、その山の中腹にある金崎宮には両親王が祀られています。元亀元年(1570)には織田信長が越前の朝倉義景討伐の軍を起し金ヶ崎城を落とし越前に攻め入ろうとした時に近江浅井氏の裏切りに合い、信長は浅井氏と朝倉氏に挟まれ絶対絶命の危機に陥ります。この時に信長軍に従っていた明智光秀や木下藤吉郎(豊臣秀吉)や徳川家康等がこの地で戦い信長を逃してピンチを救ったといわれています。このエピソードが有名な「金ヶ崎の退き口」です。



～金崎宮 宮司 田村 典男氏 プロフィール～

滋賀県甲賀市の神職家の出身
三重県皇學館大学卒業後、滋賀県の多賀大社に奉職。
平成元年に氏子も無く経済的に厳しい状況であった旧
官幣中社の金崎宮に奉職。後に特命宮司を拝命しその後
宮司となり現在に至る。

～福井あすわ歴史道場 会長 松下 敬一 プロフィール～

昭和36年8月、福井市毛矢町生まれ 日本大学経済学部卒業。福井銀行に33年間勤務し支店長等を歴任。自宅前に由利公正宅跡が立ち大学時代に読んだ司馬遼太郎の「竜馬がゆく」に自宅前が登場していたことを知り地域に眠る歴史に目覚め、平成25年に「福井あすわ歴史道場」を設立。歴史による地域活性化を目指しシンポジウム開催、講演活動を積極的に展開している。

